

**公益社団法人日本補綴歯科学会 診療ガイドライン委員会
パブリックコメントのお願い**

—咀嚼障害診断のための包括的な診断樹作成に向けて 2025—

令和 7 年 7 月 4 日
公益社団法人日本補綴歯科学会
理事長 大久保力廣
診療ガイドライン委員会
前委員長 松香芳三
委員長 澤瀬 隆

公益社団法人日本補綴歯科学会
会員各位

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

診療ガイドライン委員会では、咀嚼障害の診断指針を作成し、補綴歯科から発信することを目指しております。それに先立ちこのたび、咀嚼障害の原因となる疾患と発生器官を体系化する「咀嚼障害診断のための包括的な診断樹作成に向けて 2025」を作成しました。

咀嚼機能の回復とその維持は補綴歯科治療の主な目的のひとつですが、咀嚼障害の定義や診断基準に現在統一されたものはなく、歯科には咀嚼障害という病名也没有。また、咀嚼障害の原因は数多く存在しますが、起点となる咀嚼のとらえ方が統一されておらず、その結果、報告される病態も曖昧なのが現状です。

今回まとめた「咀嚼障害診断のための包括的な診断樹作成に向けて 2025」は、これまでに咀嚼障害として報告された病態を網羅的に調査したもので、包括的診断樹を作成していく前段階と位置づけています。

公開に先立ち、会員の皆様からのパブリックコメントを募集いたします。忌憚のないご意見をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

ご意見は、7 月 31 日までに事務局（hotetsu-gakkai01@hotetsu.org）宛にお願い致します。

謹白